

# 業務レポート NO. 1 (平成 25 年度 11 月現在)

H25・11・26

鳥根県緑化推進委員会

(松江市母衣町 55 TEL 0852 - 21 - 8049)

## 平成25年度の総会以降の主な事業と、後半の行事などをご報告します。

### 1. 実施事業、業務

#### (1) 募金等の状況

- ①募金実績(10月末) 32,173,417円 (前年比: 99.7% 前年最終実績35,998,942円)
- ②会費収入(10月末) 7,198,000円 (前年比: 98.2% 前年最終実績 7,460,000円)

#### (2) 主な主催事業・行事

- ①緑の少年団連盟総会・指導者講習会(6月26日)
  - ・新会長に岩田玉湯中校長。今年度以降、会長は玉湯中、副会長は志学中、日御碕小に。
  - ・新規結成3団(448名)
- ②25年度第1回運営協議会を開催しました。(7月23日雑賀会長以下9名の委員全員出席)
  - ・緑の募金公募事業・・・後期分36件審査。申請額総額1200万円余の約2割をカット。前期、後期で申請数、査定内容に大きな違い。同一団体が長年申請するケースが増加、予算が逼迫。現地調査のうえ議論することに。
  - ・平成25年度緑の少年団活動事業を採択。約490万円の事業費を交付。(94団、9,900名)
- ③緑の少年団活動発表大会・交流集会
  - ・県立少年自然の家で1泊2日。指導者等含め約100名参加。
  - ・最優秀発表に桜江小学校緑の少年団。もりふれ倶楽部様などの尽力で交流深まった。
  - ・昨年の最優秀団、江津東小学校緑の少年団は「みどりの奨励賞」を受賞(全国5団)し、8月北海道で開催された全国交流大会で発表。
- ④緑の募金公募事業活用団体の現地調査・意見交換
  - ・事業改善のため8月下～11月にかけて協議会委員と15団体程度を現地調査中。
- ⑤鳥根県緑化ポスター原画コンクール審査会(9月17日)
  - ・県下小・中・高校から220点の応募。県立図書館で優秀作を展示ののち全国へ。
- ⑥鳥根県・北京市緑化交流事業(H24年～26年)
  - ・昨年に引き続き交流団派遣を検討したが、鳥インフルやPM2.5問題等で募集を断念。
  - ・植林は北京市、河北省赤城県に全面委託。9月下旬、現地調査。支援金を支出。
- ⑦「森づくりコミッション」事業
  - ・もりふれ倶楽部に委託し、森林・環境の出前講座事業を学校を中心に精力的に実施。

#### (3) その他

- ①表彰関係
  - ・「森の名手・名人」に浜田市旭町 岩地正男氏(原木シイタケ栽培)が認定。
  - ・「中国・四国地区緑化功労者」に松江市東出雲町 渡部勝氏(県林業種苗協同組合副理事長)
- ②「輝け11(イレブン) しまね町村フェスティバル」へ参加(10月5, 6日。19,000人来場)
- ③鳥根県・寧夏回族自治区友好協定締結20周年記念行事への参加
  - ・本委員会から佐藤副会長、奈良井書記が訪問団に同行。寧夏からの訪問団受入にも協力。
- ④「全国育樹祭」11月16日・17日 埼玉県熊谷市
- ⑤「中国・四国地区緑化推進協議会総会」11月21日・22日 山口県(26年は鳥根県で開催予定)
- ⑥新聞・テレビ等マスコミに情報提供し緑化広報に努めた。

### 2. 下半期(当面)の予定

- (1)第2回運営協議会 11月26日(火)に開催。公募事業の見直し等について討議。
- (2)市町村緑化担当者会議 12月16日(月)県東部地区 12月18日(火)県西部地区
- (3)緑の少年団連盟理事会 12月開催で調整中
- (4)全国会議等
  - ①「全国緑化推進委員会連絡協議会」12月12日 東京都

下半期も引き続きご支援、御協力を!